

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21185
課題名	旭川医科大学皮膚科における尋常性乾癬・膿疱性乾癬・乾癬性紅皮症・乾癬性関節炎に対する生物学的製剤投与期間延長症例の特徴の検証
研究期間	西暦 実施許可日 ～ 2024年 3月 31日
研究の対象	2022年1月現在旭川医科大学皮膚科で尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、乾癬性関節炎に対する生物学的製剤治療を継続している患者さん
利用する情報、検体	<p>■診療情報（詳細：①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、家族歴、既往歴、薬剤歴、②疾患情報：疾患名、皮膚症状、罹患皮膚面積、合併症、治療経過、③血液検査結果：尿検査、白血球数、白血球分画、血小板数、クレアチニンキナーゼ、肝機能、腎機能、血糖、抗核抗体、抗dsDNA抗体などの疾患特異的自己抗体、血清補体値、<math>\beta</math>-Dグルカンなど、④臨床画像情報、皮膚病理組織所見  <input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）  <input type="checkbox"/>血液  <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>※以下の期間に収集した情報が対象となります  西暦 2010年 1月 1日 ～ 2022年 3月 31日</p>
研究の意義、目的	<p>乾癬における生物学的製剤治療は、2010年1月のインフリキシマブを皮切りに2022年3月現在、尋常性乾癬に対しては10製剤が適応を取得し、今後もさらにその数は増える見通しです。乾癬治療において生物学的製剤は非常に有効性が高く、皮疹が完全寛解する症例も珍しくはありませんが、乾癬に対する生物学的製剤治療は完全治癒を達成できるものではなく、基本的には治療の継続が必要であり、患者さん身体的・金銭的負担は大きいと考えております。</p> <p>本研究は、旭川医科大学皮膚科における乾癬の生物学的製剤投与延長治療例を解析することで、乾癬治療において生物学的製剤投与間隔が延長できうる症例の身体的特徴を見出すことを目的とします。これにより、乾癬治療における生物学的製剤の投与間隔を延長出来得る症例の特徴を認識し、患者さん負担の軽減だけでなく、将来的に皮膚科学のみならず、医学全体の発展に寄与する研究となり得ると考えています。</p>
研究の方法	診療記録から、臨床症状・既往歴・薬剤歴・治療経過・有害事象、血液検査、尿検査、病理検査、生理検査の結果を集計して、解析を行います。
その他	特になし
個人情報について	利用する情報からは、名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範

圏内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所在地：北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 旭川医科大学

電 話：0166-68-2523

所 属：皮膚科学講座

氏 名：野崎尋意

研究責任者：

所属：皮膚科学講座

氏名：野崎尋意

電話：0166-68-2523